

広域連携前進プラン（上川北部）

推進期間：令和2年度（2020年度）～令和6年度（2024年度）

令和3年（2021年）3月25日
上川総合振興局地域創生部地域政策課
上川総合振興局管内市町村企画担当課

1. 2040年の未来予測（※2015年国政調査ベース）

<市町村基礎データ（例）>

- ・管内市町村人口
2015年（68,116人） **▲20,359人** → 2040年（47,757人）
- ・公務人口
2015年（3,348人） **▲803人** → 2040年（2,545人）
- ・公有財産建物維持管理費
2015年（18万円/人） **+7.7万円/人** → 2040年（25.7万円/人）
- ・歳入・歳出構造予測
2015年（22億円） **▲87億円** → 2040年（▲65億円）

※未来カルテで管内各市町村毎に計算された予測データを合計し算出

<行政運営面で顕在化する諸課題>

人口減少	少子高齢化	地域医療の確立
公共交通の維持	職員の確保・育成	働き手の確保

2. 広域連携による対応の方向性

(1) 生活機能の強化

- ・救急医療の維持・確保対策
- ・圏域医療体制の充実

(2) 結びつきやネットワークの強化

- ・地域公共交通の確保

(3) 圏域マネジメント能力の強化

- ・大学と連携した人材育成
- ・職員研修

3. 管内で推進する広域連携の取組

市町村間連携

(1) 生活機能の強化

- 救急医療体制の維持・確保を図るとともに、圏域住民へ救急医療知識の普及啓発を行う。
- 圏域医療体制の充実を図るとともに、医療人材の育成・確保を推進する。

(2) 結びつきやネットワークの強化

- バス路線の維持・確保や交通施設の整備、多様な交通手段の検討・実証・導入を行う。

(3) 圏域マネジメント能力の強化

- 名寄市立大学と連携して、保健・医療・福祉などの人材を育成・確保する。
- 合同研修会を開催し、職員の資質向上と職員間のネットワーク強化を図る。

4. 今後の検討課題

(1) 医療・福祉など様々な分野における圏域内の連携強化による地域全体の持続性を高める仕組みづくり

(2) 住民の生活を確保する公共交通の持続可能なあり方の検討

(3) Society5.0と行政DXの実現に向けた取組の推進・組織体制の構築